

(別記)

2020年度荒尾市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農家は兼業農家が大半を占め、専業農家は水稲と果樹等の複合経営がそのほとんどである。土地利用型農業については大半が水稲の単作であるが、近年はWCS用稲や二毛作としての麦の作付けが全水田の約9%を占めるなど、転作作物として主要な位置に付いている。主食用米については、平成30年産から令和元年産にかけて作付面積が約2ha減少しており、需要動向の把握を行い、適切な作付面積の計画を立てる必要がある。耕作者については、地区の中心的な耕作者として担い手を一定の人数が確保できているが、小規模農家で高齢化が顕著であり、離農者が毎年20人程度出ている現実がある。また、農地の利用状況としては、圃場整備地区での担い手への集積が進む一方で、通作に不便であり、イノシシに代表される害獣の被害に遭うなど、立地に恵まれていない農地の休耕状態に歯止めが掛からない状況にある。耕作放棄状態の水田は179ha(26%超)であり、これらの解消も急務となっている。※担い手：認定農業者(個人、法人、集落営農)

2 作物ごとの取組方針等

市内の約720ha(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。また、麦及び飼料作物の二毛作や飼料用米の稲わら利用及び飼料作物による資源循環(耕畜連携)の取組を産地交付金で支援する。

(1) 主食用米

WCS用稲の安定化及び新市場開拓用米の開始等により、令和元年産では地域の目安を下回る作付実績(約40ha下回る実績)となったが、主食用米における状況は令和2年産も殆ど変わることがないと想定されるため、作付目安の個別提示は行わない。

(2) 非主食用米

ア 新市場開拓用米

約5.4haを多収性品種である、「やまだわら」にて取り組む。

イ WCS用稲、飼料用米

WCS用稲と飼料用米については、畜産農家の需要に沿った作付を行う。

(3) 麦、大豆、飼料作物

小麦については、シロガネコムギ及びチクゴイズミを作付する。また産地交付金を活用し、担い手への農地集積を促進し、生産性向上を図る。飼料作物については、畜産農家の需要に沿った作付を行う。

(4) 高収益作物（野菜等地域振興作物）

昨年度まで「オクラ」、「サラダスナップ」、「なす」、「キャベツ」を地域重点作物、南瓜は担い手加算にて産地交付金配分を行っていたが、十分な作付面積の拡大ができたため、今年度より地域振興作物に対する配分と同様に行う。

(5) 耕作準備作物（地力増進作物・景観形成作物）

水田の休耕状態の防止に加え、収益性のある作物への転換を促すための耕作準備を目的とする。令和2年度までを交付の期限とする。

(6) 不作付地の解消

現行の不作付地（約185ha）については、麦・飼料作物・WCS用稲などの戦略作物及び、体力と相談しながら取り組める小物野菜等の高収益作物を作付けることで、今後3年間で約5%（約9ha）の解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度(2019年度)の 作付面積 (ha)	当年度(2020年度) の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標 面積 (ha)	2021年度の作付目標 面積 (ha)
主食用米	356ha 1773t	392ha 1948t	392ha 1,952t	389ha 1933t
飼料用米	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0
新市場開拓用米	5.4	5.4	5.4	6.3
WCS用稲	46.4	40.3	45.5	42.0
加工用米	0	0	0	0
備蓄米	0	0	0	0
麦	21.4	22.0	19.5	22.5
内 基幹作	2.0	2.0	1.6	2.0
内 二毛作	19.4	22.0	17.9	22.5
大豆	0.4	0.4	0.4	0.4
飼料作物	37.2	40.0	44.2	41.0
そば	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0
その他地域振興作物	27.5	32.3	30.5	28.0
野菜	19.7	25.0	26.3	25.6
内オクラ	1.6	—	1.3	—
内サトウダイコン	1.1	—	1.5	—
内なす	2.9	—	4.5	—
内キャベツ	6.4	—	4.5	—
内カボチャ	4.1	—	4.0	—
耕作準備作物	5.4	4.9	0.1	0
内地力増進	2.5	2.0	1.5	0
内景観形成	2.9	2.9	1.0	0
その他	2.4	2.4	0.5	2.4

※主食用米の作付予定面積(2020年度)、目標値(2021年度)において使用した単収は

497kg/10a

※主食用米の目標値(2020年度)において使用した単収は 498kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019年度	2020年度
1 2	麦	麦（担い手）加算 （基幹・二毛作）	作付面積拡大（基幹）	1.48ha	1.5ha
			作付面積拡大（二毛作）	17.0ha	18.4ha
			収穫量の増大（反当り）	300kg	(245kg) 305kg
3	飼料作物	二毛作助成 （二毛作）	作付面積拡大	37.2ha	47.0ha
			水田利用率向上	105.29%	106.91%
4	飼料作物・飼料用 米・WCS用稲	資源循環の取組 （耕畜連携） （基幹）	取組面積の拡大	47.9ha	51.5ha
			施肥作業時間短縮化	△1.3H	△1.5H
5	野菜・花き・花木・ 果樹等・その他作物	地域振興作物助成 （基幹）	作付面積拡大	22.1ha	25.3ha
6	耕作準備のための 景観形成作物・地力 増進作物	耕作準備作物への 助成（基幹）	作付面積の漸減	5.39ha	2.0ha
			高収益作物の作付面積	0.7ha	4.9ha
7	新市場開拓用米	米の新市場開拓助 成（基幹）	作付面積拡大	5.4ha	6.3ha
			反収の確保	498kg	600kg
8	野菜、花き・花木、 果樹、その他作物	高収益作物等拡大 加算（基幹）	作付面積拡大	22.1ha	(2021年度) 32.0ha
	新市場開拓用米			5.38ha	(2021年度) 6.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。